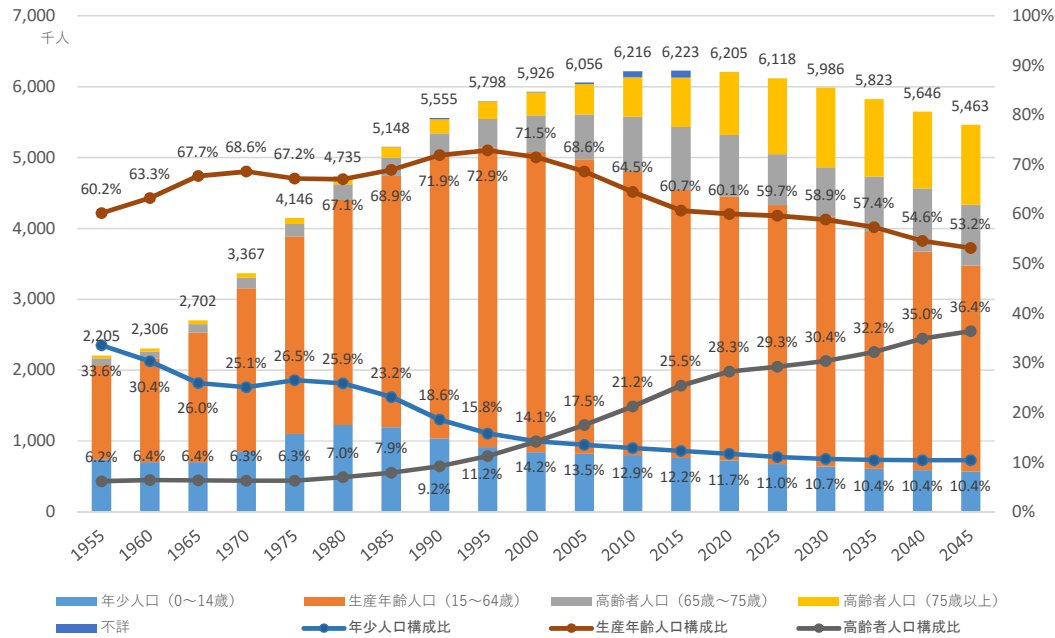


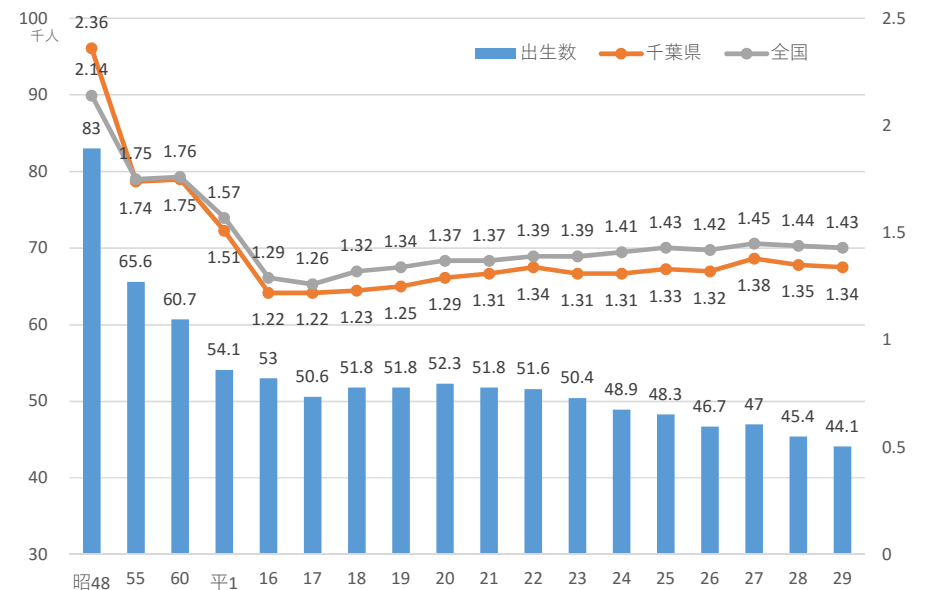
1 人口推移

○千葉県の人口及び年齢区分別の構成比の推移



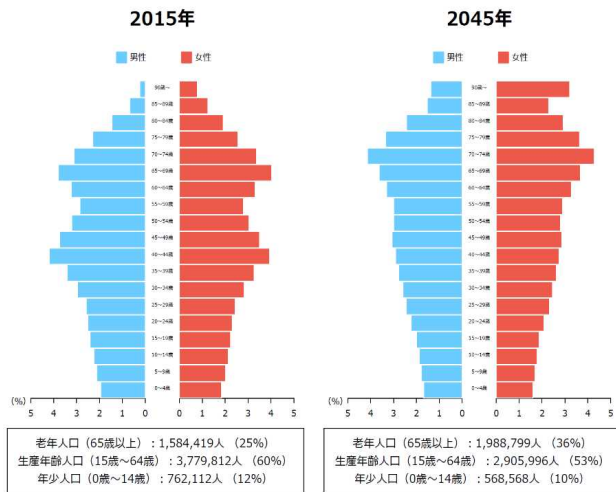
【出典】国勢調査（総務省）、日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

○合計特殊出生率の推移



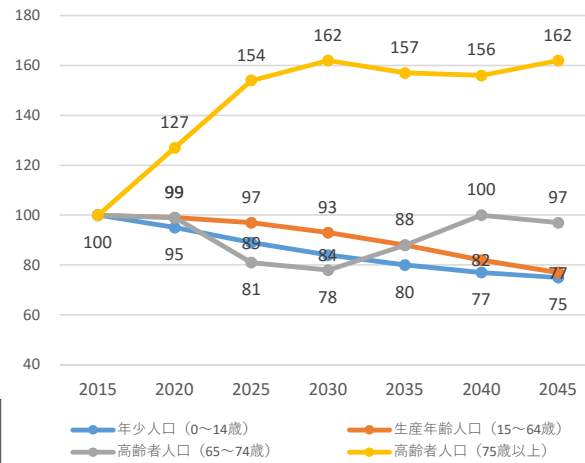
【出典】人口動態統計（総務省）

○人口ピラミッド（千葉県）



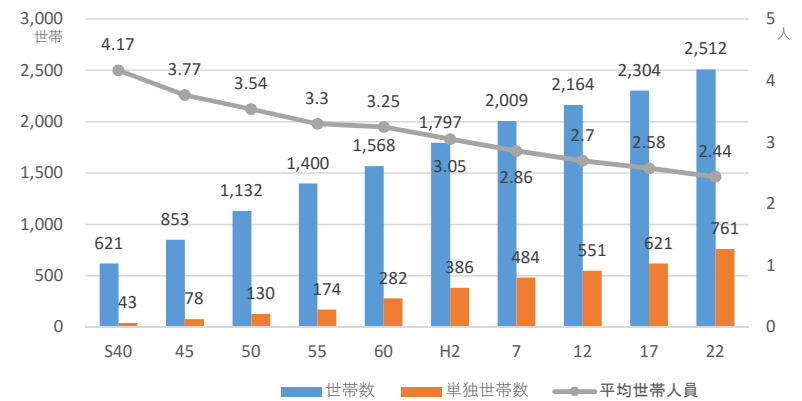
【出典】RESAS（地域経済分析システム）

○千葉県の年齢区分別人口の対2015年増加率



【出典】日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

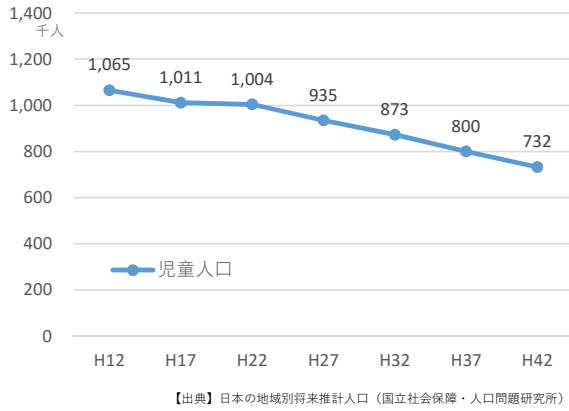
○平均世帯人員及び世帯数の推移



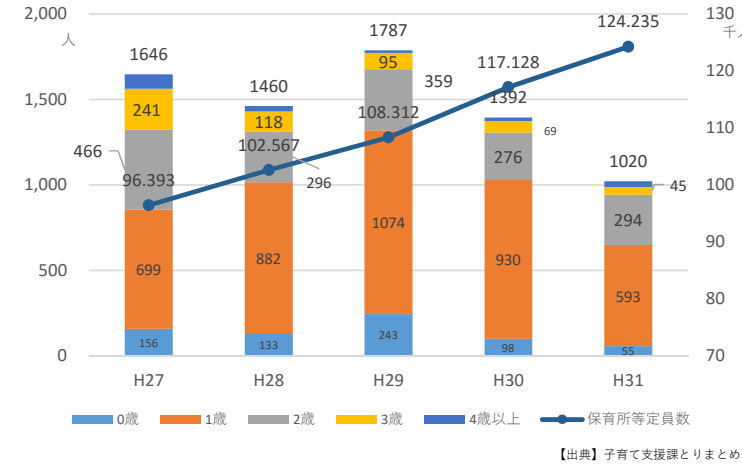
【出典】日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

2 少子化（待機児童、育児休業）

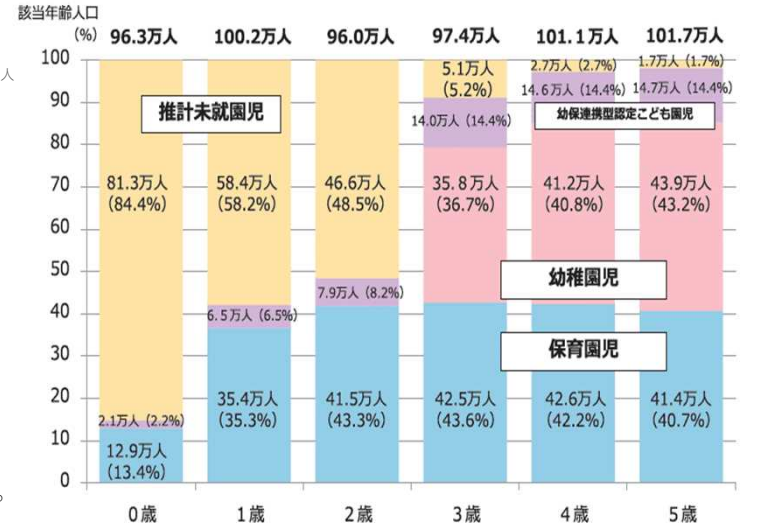
○児童の人口推移・将来推計（千葉県）



○保育所等利用待機児童数（千葉県）



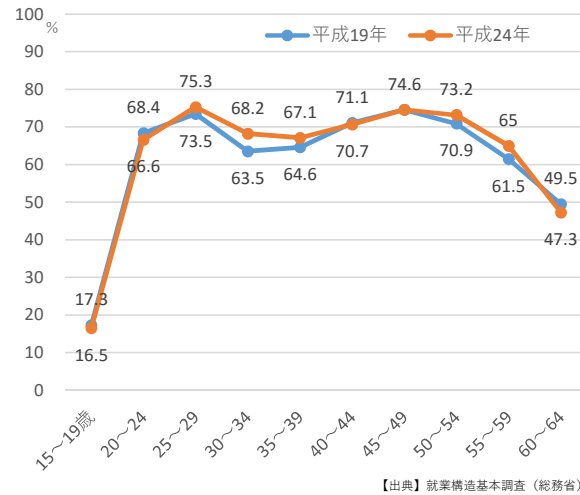
○保育園と幼稚園の年齢別利用者数及び割合（全国）



※該当年齢人口は総務省統計局による人口推計年報（平成29年10月1日現在）より。
 ※幼稚園認定こども園の数は平成30年度「認定こども園に関する状況調査」（平成30年4月1日現在）より。
 ※幼稚園には特別支援学校幼稚園、幼稚園型認定こども園を含む。幼稚園、幼稚園型認定こども園の数は平成30年度「学校基本調査」（速報値、平成30年5月1日現在）より。特別支援学校幼稚園の数は平成29年度「学校基本調査」（確定値、平成29年5月1日現在）より。
 ※保育園の数は平成30年の「待機児童数調査」（平成30年4月1日現在）より。なお、「保育園」には地方裁量型認定こども園、保育所型認定こども園、特定地域型保育事業も含む。4歳と5歳の数値については、「待機児童数調査」の4歳以上の数値を「社会福祉施設等調査」（平成29年10月1日現在）の年齢別の保育所、保育所型認定こども園、小規模保育所の利用者数比により按分したものである。
 ※「推計未就園児数」は、該当年齢人口から幼稚園在園者数、保育園在園者数及び、幼稚園型認定こども園在園者数を差し引いて推計したものである。
 ※四捨五入の誤差により、合計が合わない場合がある。

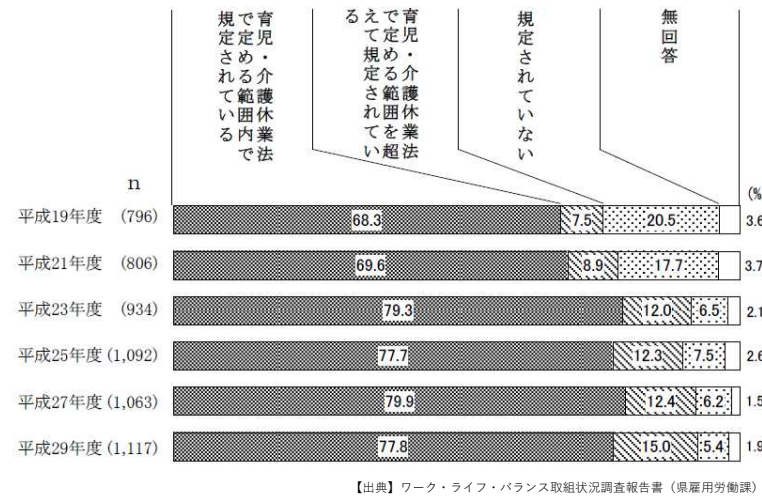
【出典】厚生労働省資料

○女性の年齢別有業率（全国）



○育児休業取得率

育児休業制度の規定状況（結果の推移）

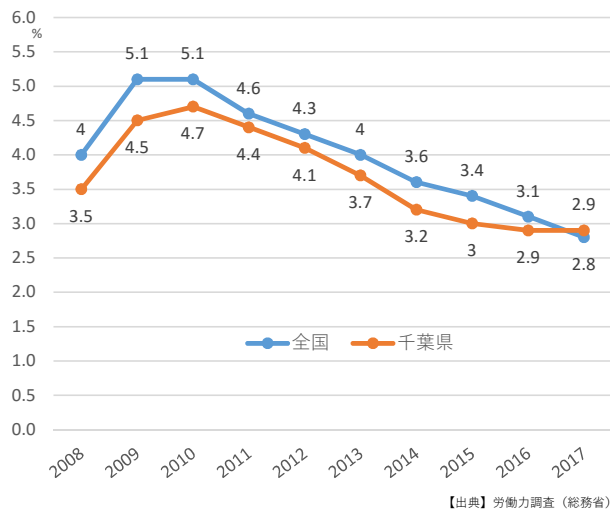


育児休業取得率（結果の推移）

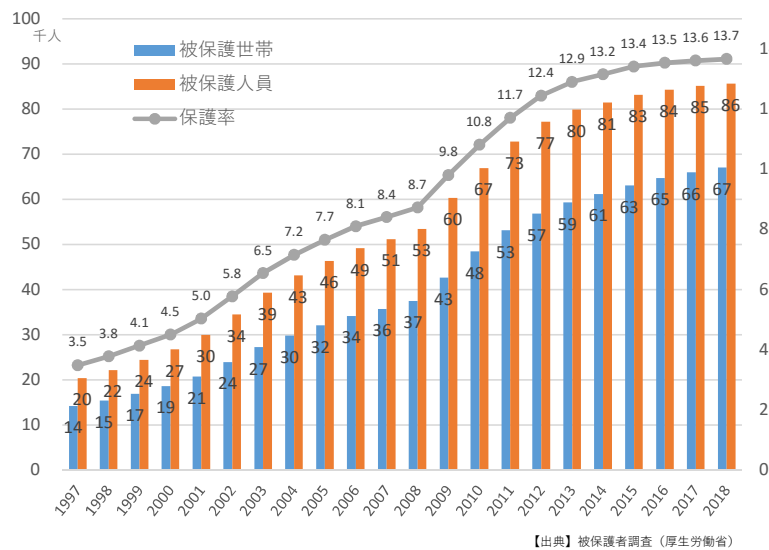
調査年度	本人または配偶者が出産した従業員数	そのうち育児休業を取得した従業員数	育児休業取得率
19年度調査	男性	1,021人	1.7%
	女性	624人	99.5%
21年度調査	男性	1,155人	2.2%
	女性	677人	88.2%
23年度調査	男性	2,240人	3.8%
	女性	1,239人	93.9%
25年度調査	男性	2,555人	3.8%
	女性	1,623人	92.0%
27年度調査	男性	1,768人	5.2%
	女性	1,328人	90.0%
29年度調査	男性	1,730人	8.2%
	女性	1,690人	98.0%

3 子どもの貧困

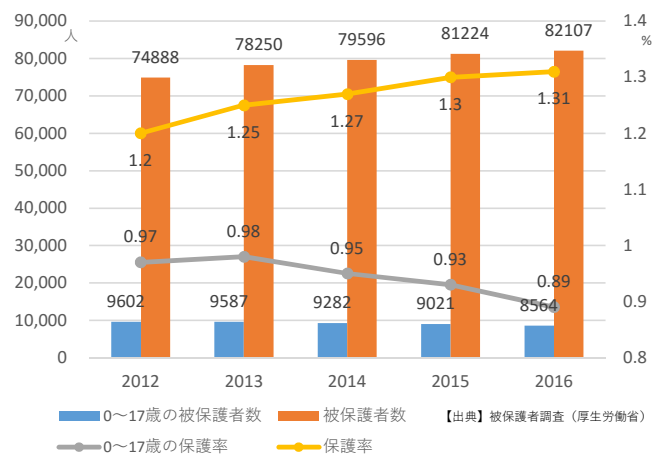
○完全失業率の推移



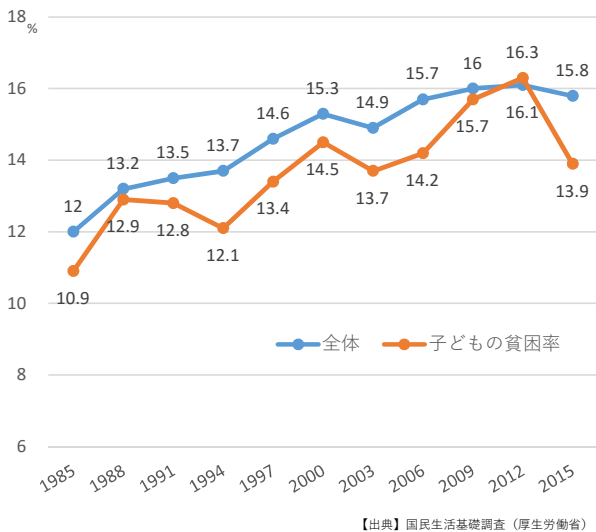
○被保護世帯、被保護人員、保護率の年次推移（千葉県）



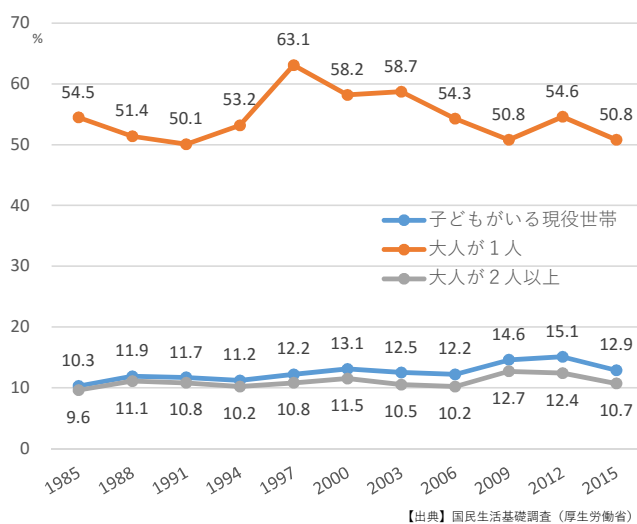
○生活保護を受給している人数（千葉県）



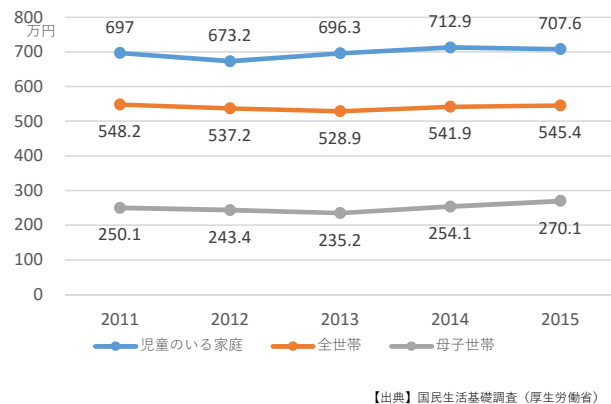
○子どもの相対的貧困率の推移（全国）



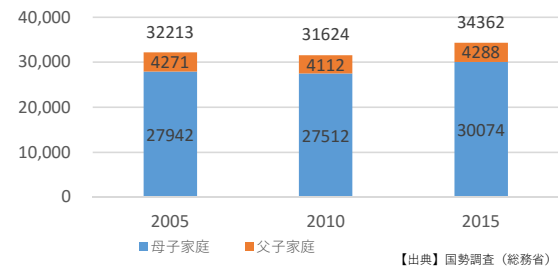
○子どもがいる現役世帯の相対的貧困率の推移（全国）



○世帯当たりの平均年間所得の推移（全国）

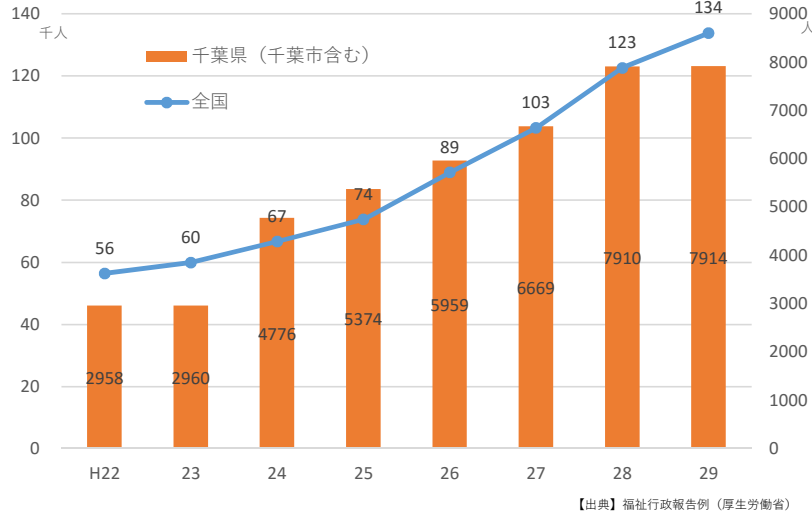


○ひとり親と未婚の子のみの世帯数の推移（千葉県）

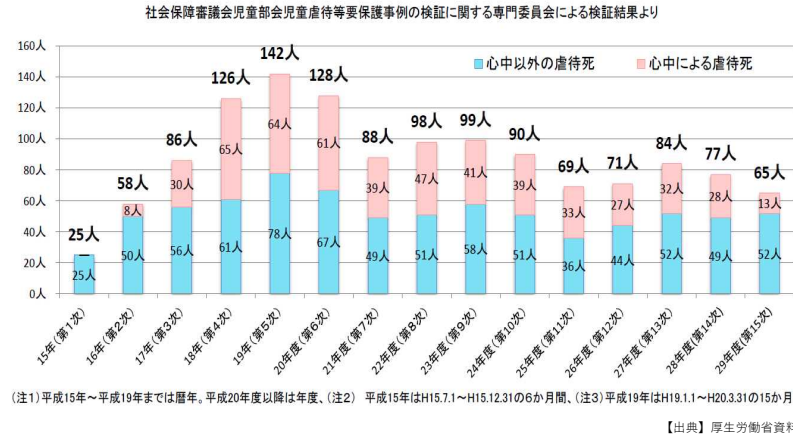


4 児童虐待

○児童相談所における相談対応件数の推移



○児童虐待による死亡事例の推移 (全国)

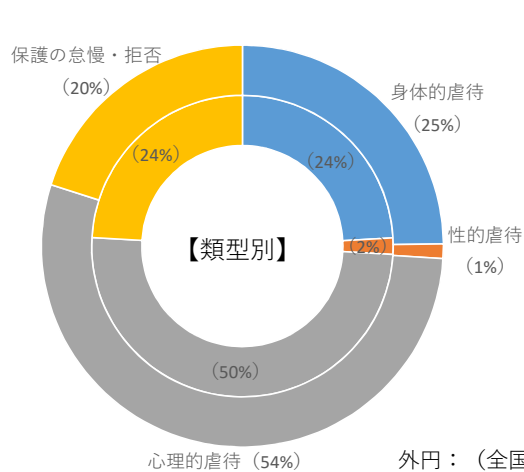


○児童相談所相談対応件数 (都道府県・指定都市・設置市別)

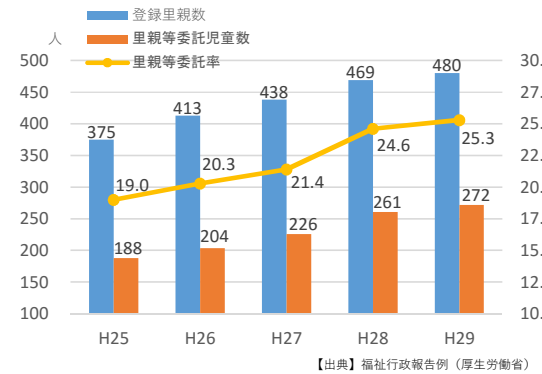
都道府県・指定都市・設置市	児童相談所相談対応件数		対前年度増減割合	対前年度増減割合
	平成29年度	平成30年度(速報値)		
1 北海道	3,220	3,780	560	117%
2 青森県	1,073	1,413	340	132%
3 岩手県	1,088	1,178	90	108%
4 宮城県	727	894	167	123%
5 秋田県	460	464	4	101%
6 山形県	271	413	142	152%
7 福島県	1,177	1,549	372	132%
8 茨城県	2,256	2,687	431	119%
9 栃木県	1,232	1,336	104	108%
10 群馬県	1,079	1,212	233	122%
11 埼玉県	10,439	12,374	1,935	119%
12 千葉県	6,811	7,547	736	111%
13 東京都	13,707	16,967	3,260	124%
14 神奈川県	4,904	5,838	934	119%
15 新潟県	1,482	1,905	423	129%
16 富山県	794	848	54	107%
17 石川県	438	566	128	129%
18 福井県	553	638	85	115%
19 山梨県	757	904	147	119%
20 長野県	2,048	2,370	322	116%
21 岐阜県	1,095	1,405	310	128%
22 静岡県	1,304	1,718	414	132%
23 愛知県	4,364	4,731	367	108%
24 三重県	1,670	2,074	404	124%
25 滋賀県	1,400	1,638	238	117%
26 京都府	1,528	1,984	456	130%
27 大阪府	11,306	12,208	902	108%
28 兵庫県	3,814	4,778	964	125%
29 奈良県	1,481	1,825	344	123%
30 和歌山県	1,142	1,328	186	116%
31 鳥取県	76	80	4	105%
32 島根県	203	300	97	148%
33 岡山県	497	541	44	109%
34 広島県	2,053	2,243	190	109%
35 山口県	526	742	216	141%
36 徳島県	634	756	122	119%
37 香川県	1,181	1,375	194	116%
38 愛媛県	726	890	164	123%
39 高知県	328	420	94	128%
40 福岡県	3,084	3,513	429	114%
41 佐賀県	248	351	103	142%
42 長崎県	630	898	268	143%
43 熊本県	545	624	79	114%
44 大分県	1,321	1,735	414	131%
45 宮崎県	1,136	1,379	243	121%
46 鹿児島県	818	1,131	313	138%
47 沖縄県	691	1,100	409	159%
48 札幌市	1,813	1,885	▲ 72	99%
49 仙台市	695	901	206	130%
50 宇治市	2,856	2,960	304	111%
51 千葉市	1,103	1,513	410	137%
52 横浜市	4,825	6,403	1,578	133%
53 川崎市	2,411	2,804	393	116%
54 相模原市	1,132	1,432	300	127%
55 新潟市	676	888	212	131%
56 静岡市	590	618	28	105%
57 浜松市	474	575	101	121%
58 名古屋市	2,898	3,394	496	117%
59 京都市	1,328	1,670	342	126%
60 大阪市	5,485	6,316	831	115%
61 堺市	1,821	2,170	349	134%
62 神戸市	1,576	1,748	172	111%
63 岡山市	438	431	▲ 7	99%
64 広島市	1,625	1,778	151	109%
65 北九州市	1,139	1,487	348	131%
66 福岡市	1,292	1,908	616	148%
67 熊本市	703	908	205	129%
68 横須賀市	656	795	139	121%
69 金沢市	429	518	89	121%
全国	133,778	159,850	26,072	119%

【出典】厚生労働省資料

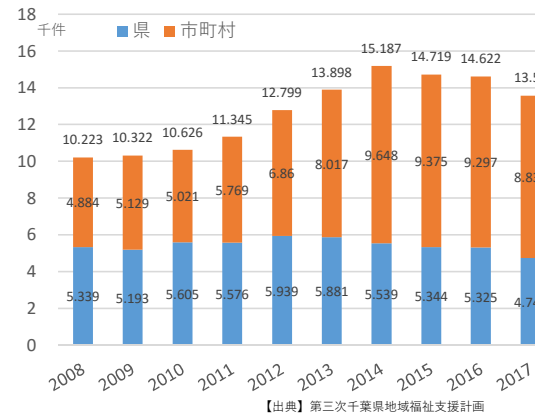
○類型別・年齢別対応件数 (平成29年度)



○里親委託の状況 (千葉県)



○DV相談件数の推移 (千葉県)



5 その他

○夫婦が理想の子ども数を持たない理由

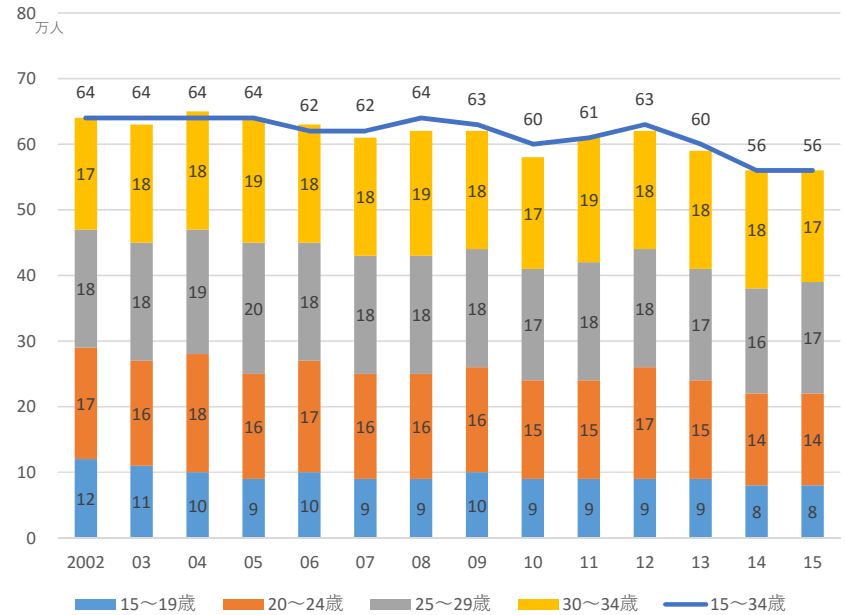
妻の年齢別にみた、理想の子ども数を持たない理由：第15回調査（2015年）
（予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦）

妻の年齢 (客体数)	理想の子ども数を持たない理由											
	経済的理由			年齢・身体的理由			育児負担	夫に関する理由			その他	
	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事への支えが足りないから	家が狭いから	高齢で生むのはいやだから	欲しいけれどもできないから	健康上の理由から	肉体的負担に耐えられない、この上にも育児の心理的負担が大きい	夫の家事・育児への協力が得られないから	一人で未成人の子がほしくて年が経てば夫の収入が心配	夫が望まないから	子どもがいないから	自分や夫婦の生活が大切だから
30歳未満 (51)	76.5%	17.6	17.6	5.9	5.9	5.9	15.7	11.8	2.0	7.8	3.9	9.8
30～34歳 (132)	81.1	24.2	18.2	18.2	10.6	15.2	22.7	12.1	7.6	9.1	9.1	12.1
35～39歳 (282)	64.9	20.2	15.2	35.5	19.1	16.0	24.5	8.5	6.0	9.9	7.4	8.9
40～49歳 (788)	47.7	11.8	8.2	47.2	28.4	17.5	14.3	10.0	8.0	7.4	5.1	3.6
総数 (1,253)	56.3	15.2	11.3	39.8	23.5	16.4	17.6	10.0	7.3	8.1	6.0	5.9
第14回(総数) (1,835)	60.4%	16.8	13.2	35.1	19.3	18.6	17.4	10.9	8.3	7.4	7.2	5.6
第13回(総数) (1,825)	65.9%	17.5	15.0	38.0	16.3	16.9	21.6	13.8	8.5	8.3	13.6	8.1

注：対象は予定子ども数が理想子ども数を下回る初婚どうしの夫婦。理想・予定子ども数の差の理由不詳を含まない選択率。複数回答のため合計値は100%を超える。予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦の割合は、それらの不詳を除く30.3%である。

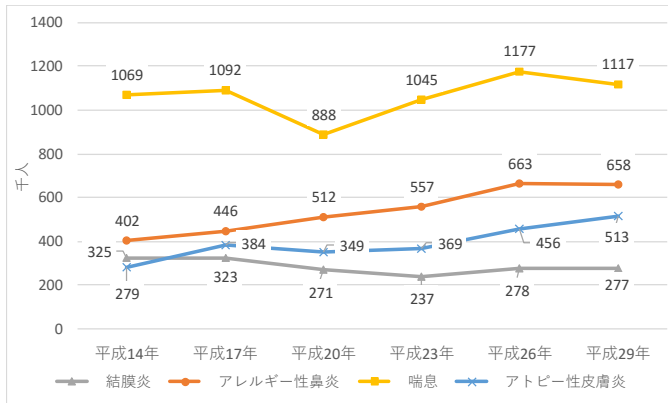
【出典】出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）

○若年無業者の推移（全国）



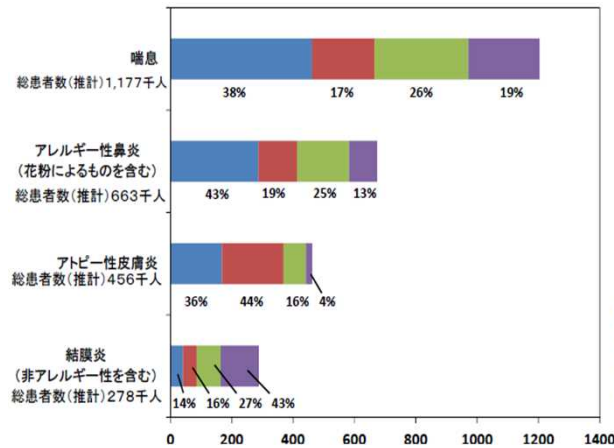
【出典】労働力調査（総務省）

○アレルギー疾患の患者推計数



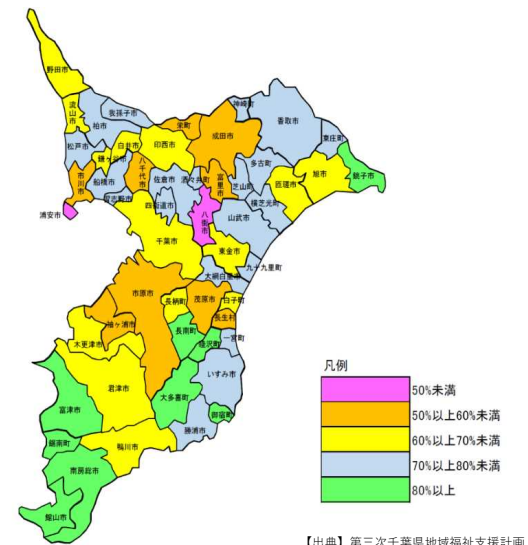
【出典】千葉県アレルギー疾患対策推進計画

○アレルギー疾患の年齢別患者構成割合の比較（平成26年）



【出典】第1回アレルギー疾患対策推進協議会資料（厚生労働省）

○県内市町村の自治会・町内会等加入率



【出典】第三次千葉県地域福祉支援計画